

# 仕様書

自動車・蓄電池部

## 1. 件名

2025年度「次世代蓄電池分野に係る政策・技術開発動向調査」

## 2. 目的

地球温暖化問題の深刻化を背景に、世界的に自動車を中心とした電動化の取組が加速されている。また、再生可能エネルギーの大量導入時における系統安定化対策、家庭・地域等におけるエネルギーの有効利用の対策などが検討されている。その中で、蓄電池はこれらの取組において核となるキーテクノロジーであると同時に、今後、大きな市場拡大が想定される成長産業分野である。

他方、蓄電池産業を取り巻く状況は、日々、変化している。EV市場の成長減速・鈍化により蓄電池の需要と供給のバランスが崩れ、中国や新興の蓄電池メーカー中心に事業縮小や事実上の撤退となるケースが出てくるといった動きや、諸外国における関税政策の強化や蓄電池材料・技術の輸出規制が敷かれる動き等も見られる。加えて、全固体電池をはじめとする次世代の蓄電池開発についても、中国・韓国をはじめとした諸外国の追い上げは目を見張るものがある。

研究開発マネジメントの一環として、最新の国内外の蓄電池分野に係る技術開発・政策の最新動向を把握するため、本調査では日本国内、中国・韓国・米国等をはじめとした諸外国における蓄電池技術・政策等の情報整理及び、定点的な情報収集を実施する。

## 3. 内容

蓄電池分野に係る以下の情報収集・文献調査を行う。

- (1) 各種政策・標準化・規制・市場動向および将来予測
- (2) 各国の国家プロジェクトにおける研究開発動向および資金配分傾向
- (3) 主要な企業（自動車OEM、電池メーカー、電池材料メーカー、リサイクル／リユース関連企業等）における研究開発・量産計画、製品、サービス、サプライチェーン確保に向けた取組み、コスト推移と見通し
- (4) 主要な研究機関・大学等における研究開発動向
- (5) 上記を踏まえた、NEDO事業を含む各国開発目標値・スケジュール
- (6) 各国の電池の需要量と生産能力計画・予測、電池・材料の将来の価格見通し

調査対象国・地域は日本、中国、韓国、米国、欧州とする。調査対象となる電池方式は、液系リチウムイオン電池、全固体リチウムイオン電池、及びリチウムイオン電池とは原理的に異なる革新型蓄電池等とし、それらのリサイクル、リユースも対象領域とする。車載用蓄電池に限らず、フロー電池やフライホイール等の定置用蓄電池も対象とする。具体的な調査対象については上記を参考に事業者が提案し、採択決定後、NEDOと協議の上決定するものとする。

また、日本における上記調査項目の現状については、本調査において必要と認めるものについては NEDO が保有する情報を可能な範囲で提供するものとする。

上記目的達成のため、情報を補完するための調査対象国等の対象及び調査項目の追加等を実施することは妨げない。その他、NEDO から要請があった場合は、協議の上、可能な限り反映する。

調査結果は NEDO 支給のフォーマットに記入し定期的にアーカイブ化するほか、調査結果から読み取れるトレンドについて実施者が保有する情報や経験を踏まえた見解を加え、NEDO 担当者に対し対面、又はオンラインで月 1 回程度の頻度で進捗報告を行う。

#### 4. 調査期間

NEDO が指定する日から 2026 年 3 月 31 日まで

#### 5. 報告書

提出期限：2026 年 3 月 31 日

提出方法：NEDO プロジェクトマネジメントシステムによる提出

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

#### 6. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会等における報告を依頼することがある。

以 上